

A本市は、重要港湾施設坂出港、番の州工業地帯、本州四国連絡橋など全国に誇ることができる産業集積、交通結節機能があり、企業誘致が順調に進捗したものの、少子高齢化、人口減少に歯止めをかけるまでには至っていないこの厳しい現実を直視し、若い世代の流出を防ぎ、夢のある子育てを全力で支援する姿勢を示す必要があると考えました。そのためには、児童生徒が地域への愛着を深め、故郷への思いを熟成できる教育環境の実現に取り組むとともに、その最も重要な小学校6年間において、安心して子育てができる、学校・友人・地域に対する愛着を育む一助となるとの思いから、小学校給食費の無償化を公約としました。



わかたに しゅうじ
若谷 修治 議員



小学校の給食費無償化の目的は

Q 給食費を無償化にすることでの子育て支援になるか疑問に思うが、どのような発想から給食費の無償化を選挙公約の最上位に挙げたのか。



(総務部長)

整備は、官民連携に
向け、まずは、行政
的なビジョンの策定
とともに、民間事
業者が可能となる枠組み
を組んでいきますの
うえ、その過
程において、
具現化してい
きます。

Q 図書館や子育て支援施設、カルチャーセンター等の複合施設をJR坂出駅前に整備し、まちのイメージを変革させると公約されているが、具体的にどのようなものを整備するのか伺う。

JR坂出駅前の複合施設の整備計画は

先端技術を活用した
コミュニケーションバスの検討は



ひがしはら あきら
東原 章議員
市民グループ未来の会



Q 丸亀市では先端技術を活用した新公共交通サービスを導入し、早ければ来年度にも社会実験に取り組むとのことだが、本市でも研究・検討してみてはどうか。

Q 64歳以下の新型コロナワクチンの接種計画はどういうふうに考えているか。

64歳以下の接種については、少しでも早くならないのか。また、基礎疾患をお持ちの方については、自己申告で優先するというとだが、市は基礎疾患の有無を把握していないため、基礎疾患のある方を含めたワクチンの優先接種をどのように考えているか。

A I T 技術を利用した新たな交通サービスとして国土交通省が社会実験を進めているMaasは、自動車やバス・タクシー・鉄道といった各種交通サービスをシームレスに結びつけることにより、移動にかかるコストや時間、労力などを低減していく取組であり、将来的には無人運転も視野に入れたものです。

先端技術を活用した新たな公共交通サービスについては、これからは公共交通の運行において重要な役割を果すことが予想され、その動向に注視していきます。

(建設經濟部參事)

A 7月の予約枠は、すでに高齢者接種でかなり埋まっています。64歳以下の接種時期については概ね8月からになると見込んでもおり、接種券の郵送時期については6月30日に発送する予定です。

また、予約受付の開始時期については、50歳から64歳の方と、基礎疾患をお持ちの方は7月6日から、2歳から49歳の方は、7月13日からの予定です。

基礎疾患のある方の優先接種については自己申告となっており、接種当日の予診医が、接種可能かどうかを最終判断します。

(健康福祉部長)